



2026年4月22日

各 位

会 社 名 株式会社D&Mカンパニー  
代 表 者 名 代表取締役社長 松 下 明 義  
(コード番号：189A 東証グロース市場)  
問 合 せ 先 取締役管理部長 南 浦 佳 孝  
兼経営企画部長  
TEL. 06-6456-7036

### MedTech Group 株式会社との資本業務提携及び第三者割当増資の引受けに関するお知らせ

当社は、本日、MedTech Group 株式会社（以下「MedTech Group」といいます。）との間で資本業務提携を行うこと、及び同社が実施する第三者割当増資を引き受けることを決定し、同日付で投資契約及び株主間契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. 本資本業務提携の目的・背景

当社は、医療・介護事業者に対し、資金支援、人材支援及び経営支援を組み合わせたサービスを提供しております。一方、MedTech Group は、医療データの安全な活用を志向するAI基盤「AI Hippo 医療Loop」の開発・事業化を進めております。

本件は、当社が有する医療・介護領域の顧客基盤及び経営支援ノウハウと、MedTech Group が開発する医療向け AI・データ連携基盤を組み合わせることで、医療機関に対する付加価値の高い支援メニューの拡充を図るとともに、将来的な協業機会の拡大を目指すものです。

#### 2. 本資本業務提携の内容

(1) 引受株式の種類	普通株式
(2) 引受株式数	436 株
(3) 払込総額	30 百万円
(4) 払込期日	2026年4月30日
(5) 出資形態	第三者割当増資の引受け
(6) 取得後持株比率	約 12.5% (3,486 株ベース)

#### 3. 本資本業務提携により期待される主な効果

- (1) 当社における医療・介護領域の支援メニュー拡充  
当社が提供する資金・人材・経営支援に加え、AI・データ活用ソリューションの検討・提案余地が広がることにより、顧客支援の高度化が期待されます。
- (2) 医療機関に対する新たな付加価値の提供  
業務負担の軽減、診療・看護支援、データ活用による経営支援等を通じて、医療機関の生産性向上及び医療品質向上に資する可能性があります。
- (3) 中長期的な事業機会の拡大  
当社において、医療・介護分野における DX・AI 関連の新たな事業機会・提携機会の創出につながる可能性があります。

#### 4. 資本業務提携先の概要

- |               |  |
|---------------|--|
| (1) 名称        | MedTech Group 株式会社   |
| (2) 所在地       | 東京都港区虎ノ門 5-13-1  |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 前田清貴   |
| (4) 設立年月日     | 2019年2月20日   |
| (5) 事業内容      | 医療・介護・健康増進に関するシステム開発、データベース企画・設計・開発・販売・提供、医療・介護経営コンサルティング等 |
| (6) 資本金       | 4,000万円(2025年7月3日)   |

#### 5. 本提携の日程

- |             |            |
|-------------|------------|
| (1) 決定日     | 2026年4月22日 |
| (2) 投資契約締結日 | 2026年4月22日 |
| (3) 払込期日    | 2026年4月30日 |

#### 6. 今後の見通し

本件が当社の当期業績に与える影響は現時点では軽微と見込んでおります。もともと、本件は当社が注力する医療・介護分野における支援メニュー拡充及び中長期的な協業機会の創出に資するものであり、将来的には当社の収益機会の拡大につながる可能性があると考えております。

今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

## MedTech Group の製品・サービス概要

MedTech Group の製品・サービスは、現時点では PoC（実証導入）及び事業化検討を含む開発・構想段階の内容を含んでおります。本別紙に記載した内容は、MedTech Group が現時点で公表している情報及び当社に共有された説明資料等を踏まえ、当社において理解している範囲を整理したものであり、現時点において具体的な提供条件、機能範囲又は導入時期等を確定的に示すものではなく、今後の実証結果、開発進捗、顧客ニーズその他の事情により、内容が変更又は見直される可能性があります。

「AI Hippo 医療 Loop」は、医療機関内に閉じた環境での運用を志向する医療専用プライベート AI 基盤です。電子カルテ、看護記録、検査結果、各種文書等のデータを安全に活用しながら、診療支援、看護 DX、経営分析等に展開する構想が示されています。

観点	AI Hippo 医療 Loop の特長	利用価値
セキュリティ	医療専用のプライベート AI 基盤として、院内閉域／専有環境での運用を前提とする。	機微情報を院外へ持ち出さずに AI を活用しやすい。
データ活用	電子カルテ、看護記録、検査結果、文書、会話等の多様なデータを横断的に扱う構想。	診療・看護・経営の各場面で一体的なデータ利活用を目指す。
AI 機能	RAG（検索拡張生成）と医療知識ベースの活用により、文書生成・要約・検索・支援機能を提供。	診療記録、看護記録、紹介状等の作成負荷低減が期待される。
導入形態	クリニック版から中小病院版、大病院向け独自サーバー型まで段階的に展開するロードマップ。	導入先の規模・用途に応じた展開余地がある。
経営支援	病院運営ダッシュボード、経営 AI、PHR・地域連携等も将来的な拡張対象。	現場業務に加えて経営判断支援への発展可能性がある。

### 参考：製品・サービスの主なポイント

本基盤は音声入力・要約機能に加え、閉域環境内における対話型情報検索や文書解説・分析等を行う機能を備えるプライベート AI としての活用も想定されています。

- ・院内閉域／専有環境での AI 実行を前提とし、医療データを外部へ持ち出さずに活用する方向性を採っています。
- ・RAG（検索拡張生成）及び医療知識ベースを活用し、診療記録、看護記録、紹介状等の文書作成・要約・検索支援を行う構想です。
- ・クリニック向けベーシックプランでは、音声入力×AI カルテ記載、看護サマリー要約等を中心に商用展開を計画しています。
- ・中小病院向けには、看護記録 AI、医師向け診療支援 AI、病棟管理・カンファレンス支援、データ連携等への拡張が計画されています。
- ・将来的には、病院運営ダッシュボード、経営 AI、PHR・地域連携、大病院向け独自サーバー型展開等もロードマップに位置付けられています。

以上